

登録コード	MA751201	開講年度	2026				
授業科目名	病因・病態検査学特別研究(生体)					担当教員	山内 一由
英文授業名	Research Thesis (Master's) in Clinical Laboratory Investigation					副担当	
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限	不定期	対象専攻 / 学年	病因・病態検査学領域 / 2 年次
講義室				授業形態	演習	授業科目区分	必須科目
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素						
	MS 2 6 カリ(保健学), MS 2 5 カリ(保健学), MS 2 4 カリ(保健学), MS 2 3 カリ(保健学)						
	【保健学】保健・医療・福祉の現場において独創的な観点で研究を推進する能力を有する。					臨床検査医学の視座から医学および医療における課題を見つけ出すことができ、課題解決に向けて、生化学的・分子生物学的な解析方法を適切に用いて研究を進めることができること。	
(2)授業の概要	研究概要は, タンパク質解析, 遺伝子解析, 培養細胞を用いた分子生物学的機能解析である。						
(3)達成目標(一般学習目標 G I O)	・研究テーマに関連する文献をはじめとする関連情報を収集することができるようになる。 ・研究計画を立案し、研究を行うことができるようになる。 ・研究結果をまとめ、討論を行い、考察することができるようになる。 ・研究成果を学会および論文として情報発信することができるようになる。						
(4)達成目標(個別行動目標 S B O s)	・2 年次の前期に, 専門学会で結果の発表を行うための情報発信する能力を習得する。 ・2 年次の後期に, 修士論文の内容を国内の専門雑誌に投稿できる情報発信する能力を習得する。 ・修了後できるだけ早い時期に修士論文の内容を外国専門雑誌に投稿できる情報発信する能力を習得する。						
(5)授業計画	開講日時は受講学生と検討のうえ決定する。 1) 研究テーマにそって文献調査および予備実験のデータを踏まえて実験計画を立てる。 2) 計画にそって実験を実施する。 3) 実験結果や調査結果をまとめ, その結果を評価・考察する。 以上のような研究サイクルによって研究テーマを発展させる。 その成果を学会などにおいて発表し, 最終的には修士論文としてまとめる。 教員は, 討論および研究方法の助言を通して研究推進をサポートする。						
(6)授業の進め方	1 年次前期の空き時間から, 研究テーマを決め, それに沿った論文を収集し実験計画の立案を行う。それに基づき, 順次実験を行い, その結果を解析し考察を行う。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	研究テーマに関連する論文検索を能動的に行い, 事前に精読しておく。						
(8)成績評価の方法	研究への取り組み状況, 結果のまとめ方, 考察内容について総合的に評価する。						
(9)成績評価の基準	総合成績評価は、90-100：秀, 80-89：優, 70-79：良, 60-69：可とする。 論文の評価は4段階で行う。課題に対する考察が十分にできていれば「卓越している」、ある程度できていれば「やや上にある」、課題に対する結果がきちんとまとめられていれば「水準にある」、課題に対する結果がきちんとまとめられていなければ「水準に足りない」と評価する。						
(10)学生へのメッセージ並びに質問, 相談への対応	個別の相談は, 事前の連絡によって 随時, 対応する。 山内一由 yamauchi@shinshu-u.ac.jp						
【テキスト, 教材, 参考書】	特に指定しない。						